

# 2007年度アートマイル壁画プロジェクト活動報告

## 【国際交流壁画共同制作】国際理解教育として効果を発揮するアートマイル

ジャパンアートマイル代表 塩飽 隆子

アートマイル壁画プロジェクトは、2010年に世界中で描かれた壁画でピラミッドを囲み世界の調和と平和のメッセージを発信するエジプト展を目標に、110カ国70000人が参加するグローバルプロジェクトである。JAMは、このプロジェクトを活用した国際理解教育を推進するため、国内と海外の学校を結び、共同で壁画を制作する交流を学校教育の現場で進めてきた。交流相手校の紹介からインターネットを活用した交流、壁画制作に至るまで活動全般をサポートする中で課題を抽出し、効果のある国際交流学習のあり方を研究してきた。2007年度の成果は「アートマイル国際交流カリキュラムモデル」「国際交流スケジュールモデル」「活動進捗レポート」を作成できたことである。

### 1 2007年度プロジェクト参加校

【日本の参加校：15校20クラス 669名】

- 1 熊本県熊本市立春日小学校 6年38名
- 2 熊本県熊本市立慶徳小学校 5年18名
- 3 熊本県熊本市立桜山中学校 2年21名
- 4 佐賀県佐賀市立芙蓉小学校 6年22名
- 5 兵庫県神戸市立神戸工科高校  
1年8名 2年8名
- 6 兵庫県 Sherry 英語教室中学生 2年8名
- 7 大阪府高槻市立第1中学校 1年全128名
- 8 大阪府寝屋川市立友呂岐中学校  
美術部13名
- 9 愛知県名古屋立柳小学校  
6年1組35名 6年2組35名
- 10 神奈川県横浜市立大口台小学校 6年33名
- 11 石川県金沢市立扇台小学校 6年全97名
- 12 石川県金沢大学教育学部付属小学校  
5年1組35名 5年3組36名
- 13 石川県金沢市立夕日寺小学校  
6年1組27名 6年2組27名
- 14 石川県内灘町立西荒屋小学校 6年15名
- 15 石川県白山市立朝日小学校 6年全65名

【海外の参加校：5カ国17校20クラス】

- <インドネシア>
- 1 SMA Labschool Jakarta 高校 1・2・3年
  - 2 SMP Labschool Kebayora 中学校 1・2年
  - 3 SDN Percontohan UNJ 小学校 5・6年
  - 4 Sekolah Dasar No1 Ubud 小学校 6年
  - 5 Sekolah Dasar Suta Dharma 小学校 6年
- <台湾>
- 6 建成 中学校 2年
  - 7 JhihKai 小学校 6年
  - 8 Taoyuan 小学校 4年
  - 9 Ze Hsin 小学校 6年
- <カナダ>
- 10 Doverwood 小学校 6年
  - 11 Eligin Ave 小学校 5年
  - 12 Goodfellow 小学校 3・4年
  - 13 Fieldcrest 小学校 4年

- 14 Terry Fox 小中学校 7年
- 15 W. H. Day 小中学校 8年  
<ロシア>
- 16 School 1129 小中高校 中学生グループ  
<エジプト>
- 17 Alshamla 中学校 1年

### 2 プロジェクトの1年間の流れ

《交流校を決定する期間》-----

- 4～5月 参加募集
- 6月 参加校決定、通知
- 7月 参加校エントリーシート提出  
交流相手のマッチング

《交流準備期間》-----

- 8月 教師用メーリングリストの立ち上げ  
(日本語版と英語版)  
生徒交流用の電子掲示板BBSを開設  
交流カリキュラムモデルの提示  
各ペアのスケジュールシート提出

《交流学習期間》-----

- 9月 学校間の交流開始
- 10月 テーマについて調べ学習
- 11月 構図決めと制作分担を相手と相談

《壁画制作期間》-----

- 12月 日本側の壁画制作

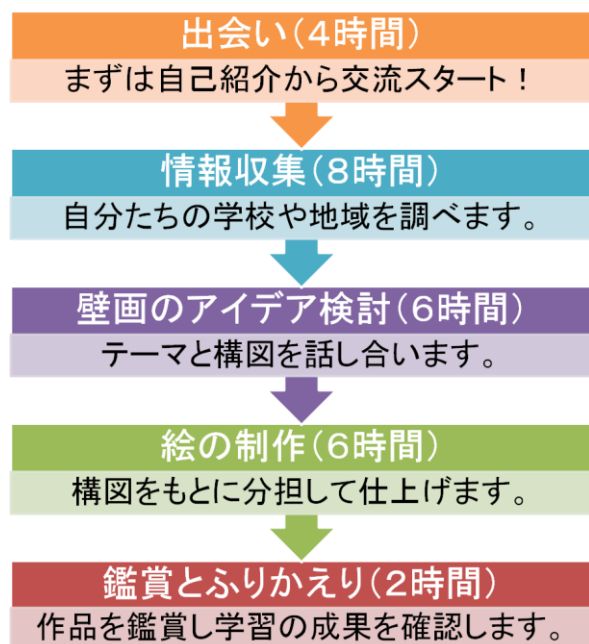
- 1月 海外側の壁画制作

《まとめの期間》-----

- 2月 完成作品の鑑賞とふりかえり
- 3月 JAMに作品・写真・評価シートを送付



### 3 実践モデルプラン



《 J AMのコーディネート 》

- ・交流相手校マッチング
- ・交流ツールの提供  
(電子掲示板・メーリングリスト)
- ・テレビ会議のサポート  
(スカイプなど)
- ・評価シートにより実践のまとめ
- ・作品管理と作品展示

《 J AMの交流モデルシート 》

- ・エントリーシート  
→マッチングの参考資料
- ・交流カリキュラムモデル  
→交流の指針
- ・交流スケジュールモデル  
→交流相手とスケジュール共有
- ・評価シート  
→活動のふりかえり

#### <アートマイル国際交流スケジュールモデル>

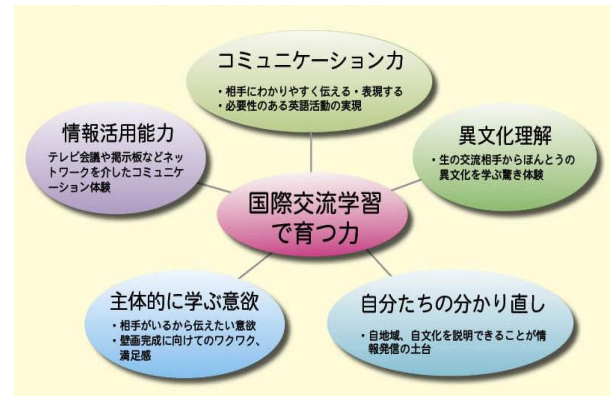
	活動計画	活動内容		備考
		日本校	海外校	
9月	自己紹介	電子掲示板(BBS)やTV会議で自己紹介 <b>オプション</b> 自己紹介カードや学校紹介ビデオを制作し、相手に送る	同左	BBS TV会議 EMS郵送
10月	調べ学習	テーマに沿って自分の国・相手の国のことを調べる(図書館・ウェブ・校外活動) BBS(+TV会議)で調べた情報を交換 作品に込めるメッセージを考える	同左	インターネット・地域 BBS TV会議
11月	構図決め	構図を決め、自分達はどの部分を描くのかを相手と相談する → 制作スケジュールを決める → 自分達の下絵を考える	構図・分担を相手と共有する	BBS
12月	日本側 壁画制作	下絵を書く → 色を塗る 制作の様子をBBSなどで相手に見せる 12/25までに絵を相手に送る	相手が描いている様子をBBS(+TV会議)で見る → キャンバス届く	BBS TV会議 EMS郵送
1月	相手側 壁画制作	制作の様子を掲示板(+TV会議)で見る	下絵を書く → 色を塗る 制作の様子を相手に見せる	BBS TV会議
2月	鑑賞	受け取った完成作品を鑑賞する ← 絵の感想や活動全体の感想を伝え合う	完成した作品を鑑賞する 日本側に送る 絵の感想や活動全体の感想を伝え合う	EMS郵送 BBS TV会議
3月	JAMに 作品送付	JAMに完成作品を送付する 写真・評価シートをメールで提出する	写真・評価シートをJAMに メールで提出する	

## 4 プロジェクトの成果と課題

### (1) 成果

2007年度は国内から15校、海外5カ国から17校が参加し、20ペアが22枚の壁画を制作した。参加校全員がプロジェクトのゴールまで到達したことは、大きな成果と言えるだろう。

参加校に活動のまとめとなる評価シートの提出をお願いし調査したところ、「異文化理解」「自文化理解」「協同作業をする力」「人間関係を作る」は共通して評価が高く、「コミュニケーション力」「情報活用能力」は評価が分かれた。これには、特に小学校では、教師も生徒も英語がネックになって相手とのコミュニケーションが難しかったということが考えられる。



神戸工科高校とエジプト Alshamla 中学校



春日小学校とインドネシア No1 Ubud 小学校



友呂岐中学校とインドネシア SMA Lab 高校



柳小学校とカナダ W.H.Day 小学校



扇台小学校と台湾 JhihKai 小学校



西荒屋小学校とカナダ Eligin Ave 小学校



夕日寺小学校と台湾 ZeHsin 小学校



桜山中中学校と台湾建成中学校



(2) 課題

JAMでは、アートマイル国際交流共同制作を国際理解教育を推進する有効な手段と捉え、参加校の活動全般をサポートしてきたが、その中でいくつかの課題が見えてきた。

○交流ツールについて

BBSを活発に利用していたところは交流の密度が濃く、活用していないところは薄いという傾向があった。TV会議は、双方の距離を縮めるのに効果があるが、単発では「やった」というだけに終わる。普段のBBSでの交流の流れの中で行えば、1回だけのTV会議でも効果が期待できる。また、TV会議はネット環境の悪い海外の学校だけでなく、日本の学校にも様々な解決すべき問題があることが分かった。

⇒2008年度は、交流のツールとしてBBSを使うことを条件にする。TV会議ができるかどうかを事前に調査し、交流はBBSとTV会議を可能な範囲で組み合わせる。



○参加者の情報共有の手段について

国内の参加教師の情報共有・意見交換の場として日本語のメーリングリスト(ML)を、海外の先生も含めた全体の情報共有・意見交換の場として英語のMLを用意した。MLでの情報は多すぎても少なすぎても利用しにくいということが分かった。

⇒MLの有効な活用方法も含め、参加者全体の動きが見える有効な手段を検討中である。

○スケジュール管理について

2007年度に海外交流に参加した全ての学校が壁画完成まで到達できたが、各校とも当初のスケジュール通りには活動が進まず、制作活動の時期が遅れて鑑賞に充分時間が取れなかったという報告が多かった。

また、参加校の活動時期が結果的にバラバラであったため、サポート側にも負担は大きかった。同じスケジュールで進行すれば、参加校にとっても同時期の他校の活動が参考にできるなど利点は多い。

⇒2008年度は、充実した交流学习・制作活動が予定通り実施できるように、「国際交流スケジュールモデル」を提示する。参加校には、それと組み合わせられた月毎の「活動進捗レポート」により進捗状況を報告してもらう。



○より効果的な交流学习をめざして

昨年の「アートマイル国際交流カリキュラムモデル」を改良し、さらに取り組み易く流れが分かり易い2008年度モデルを作成した。これにより、どの学校でも取り組めて教育効果のある国際交流が可能になると期待する。

5 実践の資料

アートマイル国際交流カリキュラムモデル

単元のねらい 自己紹介や壁画の話し合いを通して相手を理解し、自分の思いを表現することができる(コミュニケーション) ステレオタイプではない国の異文化を交換相手を通して理解することができる(異文化理解) 自分たちの地域や文化を調べ、伝えることで異国認識することができる(自分たちの誇り意識)

フェーズ	ねらい	活動	活動のねらい	備考	メディア等
第1期 【出会い～自己紹介～自己紹介を交わし、仲間意識を育む】 4-6時間 (9月)	1	国際交流の意義の理解	国際交流の必要性や交流先への興味関心を高める	ゲストティーチャー(JAMの利用)も1世帯が100人の村に3つ	TV会議
	2	計画を立てる	アートマイルプロジェクトの趣意が分かる簡単な自己紹介カードを作成	交流のイメージを膨らませる	
	3	自己紹介カードの作成と交換	英語話者と日本語話者との基本的な自己紹介(自己紹介の話し方を知る)	カードの郵送、EMAILも可(英語話者の1コマ)	デジタルカメラ
	4	自己紹介の練習	TV会議で紹介し合い内容を参考練習をする	ビデオで撮影して郵送も可	ビデオ
	5	TV会議の実施	自己紹介やゲームを行い、交流相手について理解	skypeなどの利用 必ず事前に接続試行を実施	TV会議
第2期 【自分の地域の文化を伝え、相手から情報を得る】 4-6時間 (10月)	1	学校・地域紹介の準備	学校や地域のウリを調べ、分かり直しができる	自分たちが自信を持って紹介できるものを整理	
	2	学校・地域紹介の作成と交流先の情報と理解	交流相手が理解できるように表現方法を工夫 掲示板やWEBなどに書き込める	交流相手にわかりやすい表現方法(写真や図を添えて内容がわかるようにする)	掲示板 WEB作成
	3	テーマについて	共同で書き進めたい絵のテーマについてアイデアを出す テーマに基づき具体的なイメージを作る	例:平和、環境、未来、夢など イメージマップで観望を出してから、絵を描く	
	4	練習し、相手に伝える	自分たちの提案意図が伝わるように表現する	クラスで数点を選り、TV会議や掲示板で受け入れ可能な点を整理	TV会議 掲示板
第3期 【壁面のテーマを話しあひ、お互いの意見をとり入れ、テーマを提案する】 6時間 (11月)	1	修正案の説明	相手の意見を取り入れたイメージを提案できる	再度TV会議や掲示板で提案する	TV会議 掲示板
	2	議題の決定と分担	最終的な議題決定のことが出来る	互いに協働場所を決定する	
第4期 【絵を制作しよう】 ※課外 (12月)	1	下書き	議題を元に鉛筆で写す マジック等で最終確認のため	元版をプロジェクター等で投影して写してよい 多少失敗しても気にしない、重ね塗りも可	
	2	色塗り	部分ごとに多人数で同時に塗る 深さなる色の絵の具から、色を塗り色させる	絵の具の中の部分から塗っていくと塗り残しがない 塗り残しがないの意識でも必ず可 いつか残される意識で塗り残しを繰り返す 塗り残しを繰り返す	進行状況の掲示板での説明
	3	完成品を送付	完成品を送付	完成品を送付	完成品を送付
	4	展示	展示	展示	展示
	5	鑑賞	鑑賞	鑑賞	鑑賞
1,2月	制作中	相手の進行具合を確認する	相手の進行具合を確認する 必要に応じて調整	掲示板上で相手の進行状況について意見を交換	掲示板
第5期 【鑑賞とふりかえり】 2-4時間 (2,3月)	1	作品を受け取る	完成品をクラス全員で鑑賞	達成感を共有させる	絵の鑑賞
	2	完成作品の鑑賞	自分たちが鑑賞を出し合える	相手の絵画や思いをめぐり取る	掲示板
	3	感想の交流	交流先に自分の思いを伝えられる	相手の描いたことに対して質問や感想を話し合う	TV会議 掲示板
	4	ふりかえり	活動を通して学んだことをまとめられる	活動をふりかえり、共同作業の成果を確認する	

資料の問い合わせ先: [sherry@mement.net.or.jp](mailto:sherry@mement.net.or.jp)

## 【国内単独制作】2007年度テーマ「友 You & I 愛」～メッセージを壁画に込めて～

ジャパンアートマイルが学校現場で進める壁画制作プロジェクトには、国際交流による共同壁画制作と、一つの学校で取り組む単独制作がある。単独制作では、総合の時間などで年間を通して学習したことを最終的に壁画でまとめる取り組みが多く、アートマイルの壁画制作が学びをアウトプットする手段として非常に有効であることが分かる。自分たちの作品が完成後も国内や海外で展示され、2010年にはエジプトでピラミッドを取り囲むことが生徒たちに夢を与えている。

### 1 プロジェクト参加校

2007年度のテーマは「友 You & I 愛」

【参加校：8校、698名】

- 1 熊本県熊本市立春日小学校 6年38名
- 2 熊本県熊本市立春竹小学校  
4年3名 5年8名
- 3 熊本県熊本市立桜山中学校 2年19名
- 4 熊本県熊本市立池上小学校 5年49名
- 5 熊本県三加和町立神尾小学校 6年12名
- 6 兵庫県神河町立越知谷小学校  
1年8名 2年8名
- 7 静岡県伊豆の国市立葦山中学校  
1・2・3年540名
- 8 北海道千歳市立北斗中学校 3年13名

### 2 プロジェクトの1年間の流れ

ほとんどの小学校が2学期に総合・国語・生活の時間でそれぞれのテーマについて学習し、3学期の図工の時間で制作をするという流れ。中学校では選択教科美術で取り組んでいた。

### 3 実践モデルプラン

※5実践の資料「アートマイルプロジェクト評価シート」記入例を参照。

### 4 プロジェクトの成果と課題

(1) 成果 参加校の報告書から

- ・共同で絵を描く体験が、一人ひとりの子どもたちのがんばる心を育てた。
- ・子どもたちが、自分たちの思いは言葉だけでなく絵でも伝わるといふことに気づいた。
- ・絵を描くことを通して、子どもたち同士が協力することができた。
- ・たくさんの人に見てもらふことで、自信を持つことができた。

(2) 課題 参加校の報告書から

- ・制作の時間が充分でなかった。もっと制作の時間を保証すべきだった。
- ・完成した絵の鑑賞の時間が少なかった。

2008年度は、単独制作の参加校にもスケジュールシートの提出を求め、計画的な活動を促すこととする。また、これまでに明らかになった課題を参加者に示し、事前に対策を取ることを促す。

### 《参加校の「友 You & I 愛」作品紹介》

熊本市立池上小学校

「素晴らしい環境をいつまでも」



熊本市立春日小学校

「春日&阿蘇 そして卒業する私たち」



神河町立越知谷小学校 「ぼくたち

わたしたちと地域の方々との交流」



千歳市立北斗中学校

「世界が平和であったらいいのに」



伊豆の国市立葦山中学校

「友 You & I 愛 心のつながり」



## 5 実践の資料

以下は、ある教師のアートマイルに取り組んだ動機である。

「2学期に子どもたちは、国語の「ごみ問題ってなあに」という資料からいろいろな課題を立てて調べ学習をしています。また、ワンガリマータイさんの「もったいない」という絵本から、自分たちの身の回りにもたくさんのもったいないがあることに気づいています。今後、エコ体験教室等でリサイクル体験をして、学校のみならずにももったいない精神を広めていきます。最後に「ハチドリの一としづく」、わたしはわたしにできることをしているだけ……。環境問題は、世界規模の問題です。一人が少しくらいやっても、解決しません。でも、一人ずつが何人もの輪になって、きっと解決できるという夢や希望をもたせて、2学期は終わる予定です。3学期は、2学期に学んだことを世界へ発信！ということで、アートマイルに挑戦しようと思います。」

その学校の「アートマイルプロジェクト評価シート」の一部を以下に紹介する。

### ■基本情報について教えてください。

学校名 [〇〇〇〇小学校 ] 担当教諭 [ 〇〇 〇〇 ]			
児童生徒の学年・参加人数： [ 5年 49名 ]			
実施期間： 20年 9月 ～ 20年 3月			
実施教科・時数 (関連させたものを すべて)	教科	単元名	時数
	図工	思いや願いを絵で表そう	2
	総合	もったいないスピリットを広めよう	20
	国語	伝え合って考えよう	10

### ■作品について教えてください。

題 (テーマ)	素晴らしい環境をいつまでも
絵に込めたメッセージ	ふるさとの素晴らしい環境をいつまでも残したい

### ■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	9月	「ごみ問題ってなあに」という説明文を読み、地球環境の問題について考える。	地球温暖化などの問題を知り、身近なところから自分たちも、取り組んでいこうと考える。	国語
情報収集	10月	環境問題について調べる。短い番組にまとめて発表する	地球環境について、理解を深める。	国語 総合
テーマ検討	1月	アートマイルの鑑賞をして、思いや願いを絵で表すことができることを学ぶ。12歳の伝説のスピーチの学習をして、自分たちができることを考える。	アートマイル等の他の絵の鑑賞をして、自分たちも描いてみたいという願いをもった。その後、一人一人が下絵を描き、鑑賞会をする。その後、絵に入れたいものを考えて、下絵を描く。	図工 道徳 総合
制作	2月	それぞれが下絵を描き、鑑賞し合い、全体の構想を練り、絵を描く。	自分たちの思い「環境を守りたい」を絵で伝えるためにどう表現したらよいかを考えて描いた。役割分担を決め、仲良く協力しながら絵を描けた。	総合
鑑賞	3月	完成した絵の鑑賞	思いは、言葉だけでなく絵でも伝わると分かった	総合

### ■学習目標と成果はどうでしょうか？

身についた力	・協同作業をする力・人間関係をつくる・自文化の理解・コミュニケーション力・表現力
--------	--